

ちば経済フラッシュ

千葉県経済の動き —中小企業動向を中心に—

概況

県内経済は、引き続き緩やかに回復しているが、IT関連産業で生産調整の動きが続くなど、回復力に力強さはない。

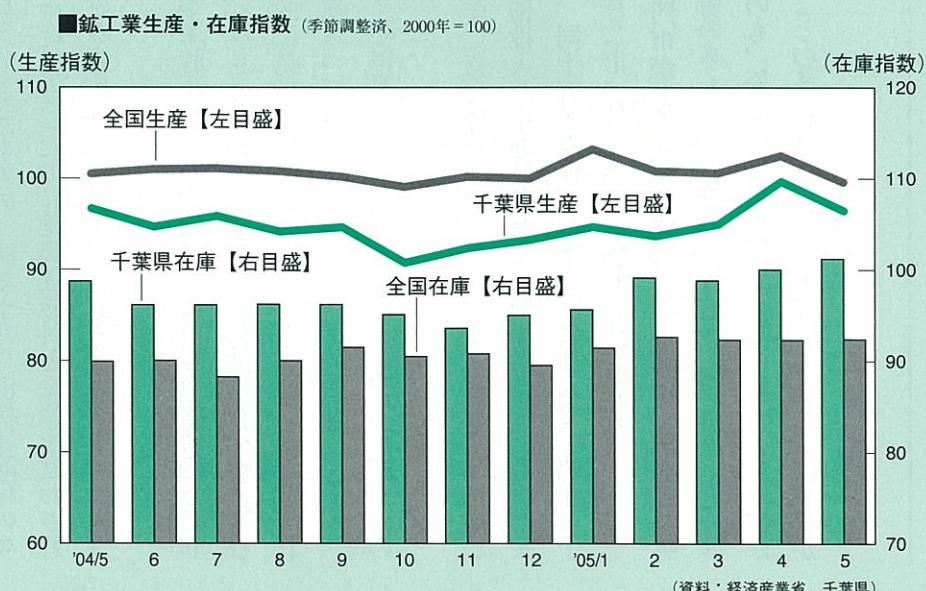
最終需要面では、県内小売業の販売動向は全体としては盛り上がりに欠ける状態が続いている。住宅投資は二期連続で前年を上回り、輸出も一時の勢いはなくなったが、水準は高い。県内企業の2005年度設備投資計画額（6月末現在）は、全産業ベースで前年度比+100・0%増加した。ただ、製造業は同+7・5%、非製造業も同+十二・六%であるが、いずれも大企業が牽引し中小企業では前年度を下回っている。この間、千葉県鉱工業生産指数は、一進一退の動き（3月・九五・〇→4月・九九・七→5月・九六・五）が続いているが、水準は全国に比べて低い。

県内小売業では、新型車販売効果の続く乗用車販売やホームセンターや、第三世代携帯電話の販売などは堅調に推移し、インターネット通販やオーディション等の新興市場の伸びも高いが、百貨店・コンビニ・家電販売等の売り上げは前年を下回っている。4～6月期の新設住宅着工戸数は、前年同期比+0・6%と増加した。特に、分譲マンション（同+四一・四%）の好調ぶりが目だつ。4～6月期の公共工事請負額は四期連続で二ケタ減少した。

雇用面では、千葉県の4～6月期の有効求人倍率（季調済）は〇・八六倍と二期連続で緩やかな改善が続いている。このうち5月の有効求人倍率は、〇・八八倍と四ヶ月連続で改善し、1992年11月以来十二年六か月ぶりの高水準となつた。

県内地価動向を見ると、柏の工業団地周辺や浦安、成田などの地域では、物流倉庫等の需要増を映じて路線価の二倍近い値段で落札されるケースも出ている。

なお、7月22日の中国人民元の切り上げに対する県内企業への影響は、中国に加工拠点を持つメーカーなどで、現地での原材料調達コストと人件費上昇から、収益悪化を見込む先もあるが、全体としては、切り上げ幅が二%と小幅であつたため、今のところ軽微にとどまつている。



消費関連

海外とともに増加が続いている。

一方、県内百貨店の05年4~6

月期の売り上げは、主力の夏物衣料品が振るわず、五期連続で前年を下回った。コンビニの売り上げは、競合激化により前年割れした。家電販売では、薄型テレビは依然好調だったが、パソコン等の売り上げ伸び悩みが響き、全体ではマイナスが続いた。家具販売は単価の下落や競合激化を主因に、外食産業も来店客数の減少などから、それぞれ前年を下回っている

Iは、四期連続で「悪化」超が続いている(04年10~12月期▲八・六~05年1~3月期▲十一・一~4~6月期▲九・〇)。7~9月期も▲六・五と水面下の見通し。依然として決着せず、03年12月か

が続いている。県内小売業の販売動向は、新型車発売効果による乗用車販売やインターネット通信販売など一部で上向きの動きが見られるが、全体としては盛り上がりに欠ける状況が続いている。

県内の4~6月の乗用車新車登録台数(軽含む)は、新型車発売効果から前年を上回っているほか、ホームセンターの4~6月の売り上げも、来店客数に上向きの動きが見られ前年実績を上回った。旅行取扱業界の販売実績も、国内・

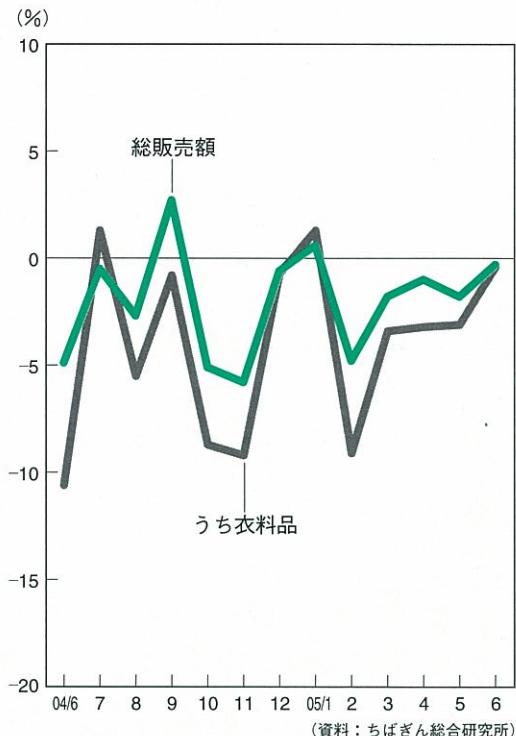
県内食料品メーカーの生産B/Sは、四期連続で「悪化」超が続いている(04年10~12月期▲八・六~05年1~3月期▲十一・一~4~6月期▲九・〇)。7~9月期も▲六・五と水面下の見通し。依然として決着せず、03年12月か

ら続いている米国産牛肉の輸入禁止は解決のめどがたっていない。そのため牛肉の高値(前年比四〇%高)、品不足は続いており、店頭消費が伸びない。鶏肉(生肉)もタイ、中国など主産地からの輸入禁止が続いている。輸入可能なブラジル産鶏肉も国際間需給がタイト化し、価格上昇が見込まれている。これに対し、仕入れ先を他国に拡大する等、リスク分散を検討している。

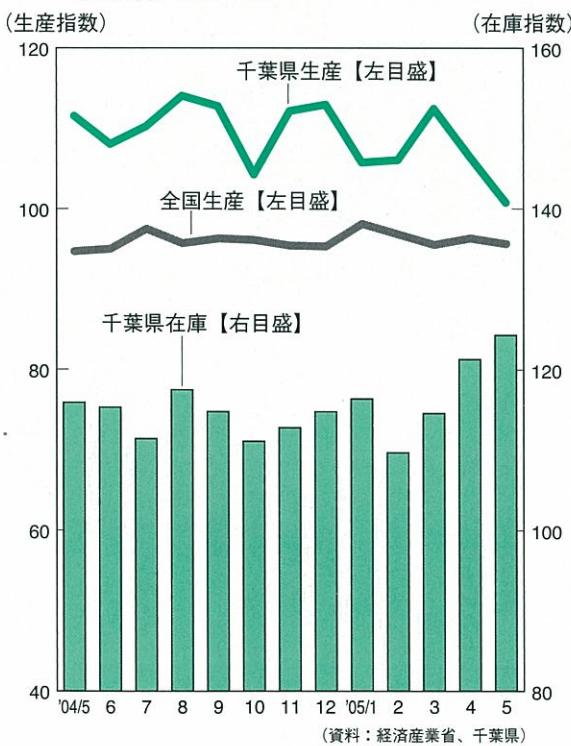
この間、売り上げ増加に向けて、愛知万博に合わせて元産品を組み入れたご当地商品を投入するなどの動きが見られた。(三田村)

食料品

■千葉県百貨店販売額伸び率(対前年同月比)



■食料品の生産・在庫指数
(季節調整済、2000年=100)

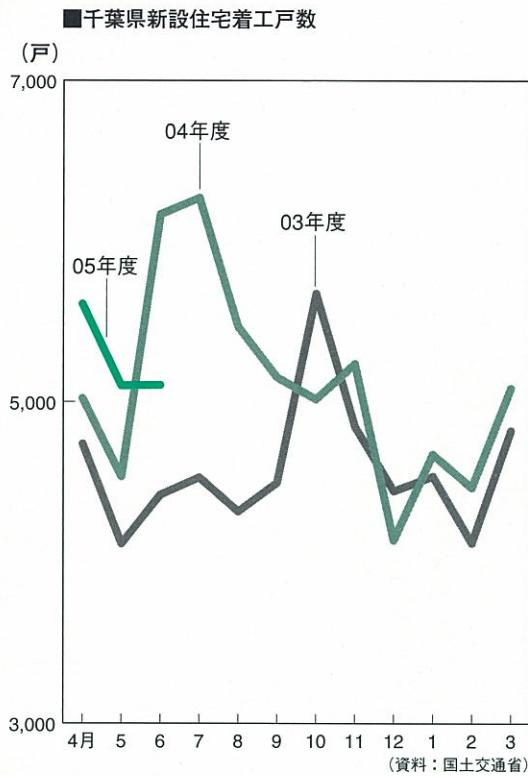


住宅・建設

4～6月期の新設住宅着工戸数は、前年同期比+〇・六%増加した。特に、分譲マンション（同+四・四%）の大増加が続いている。分譲戸建（同▲一・二%）は十期ぶりに減少したが、五期連続で三千戸を超える高水準を維持している。もともと、県内建設業の受注競争は激化しており、収益環境は厳しい。

7～9月期▲十五・八%→10～12月期▲十九・六%↓4～6月期▲十六・五%。発注先別に見ると、都道府県（同+二六・三%）、国（同+二五・三%）は増加したが、市区町村（同▲四五・一%）、地方公社（同▲十六・八%）、公団事業団（同▲六・〇%）は減少しており、通常は第1四半期の発注が多い市区町村が大幅低下した。

（三田村）



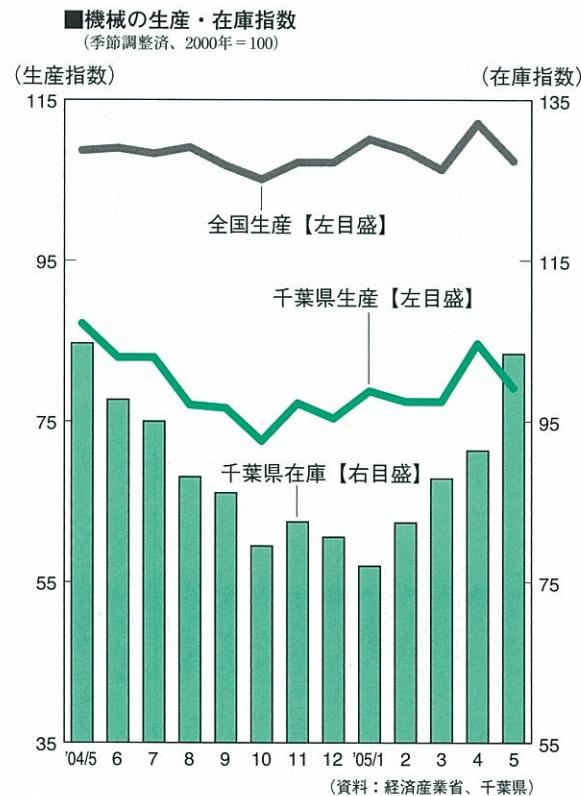
7～9月期▲十五・八%→10～12月期▲十九・六%↓4～6月期▲十六・五%。

機械

県内電気機械メーカーの生産B/S/Iは、五期連続で悪化した（04年1～3月期十八・二→4～6月期○・〇→7～9月期▲六・三→10～12月期▲十三・七→05年1～3月期▲二三・七→4～6月期▲二五・〇）。昨年夏以降続いている半導体関連製品の在庫調整は、当初の見通しでは4～6月期には終了し、7～9月期には回復基調に転じるとの見方が多かったが、実際には7月以降増産に転じたのは一部にとどまり、多くの企業で

は生産調整が続いている。本格的な回復時期は、年末商戦向けの生産が始まる10月以降にずれ込むとの見方が多い。

県内一般機械メーカーの4～6月期の生産B/S/Iは、これまでの高水準が一服気味（04年7～9月期二五・〇→10～12月期三〇・六→05年1～3月期二三・五→4～6月期○・〇→7～9月期見通し三・〇）。原料の鋼材価格などは高止まりの状態で収益は厳しい状況にあるものの、昨年夏以降続いている供給不足は解消され、生産はフル稼働とする向きが多い。なかでも、自動車関連産業では国内・外向けともに好調ぶりが目だっている。（酒井）



ITソフト

極化が進んでいる。

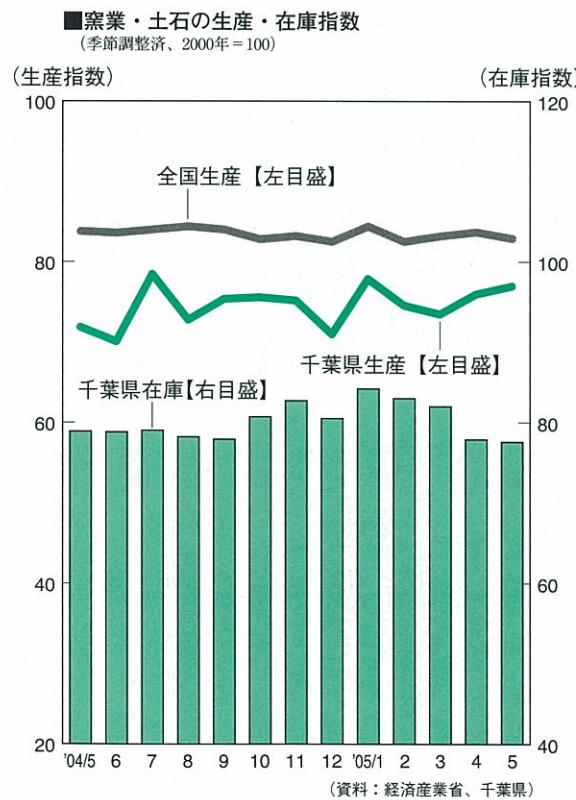
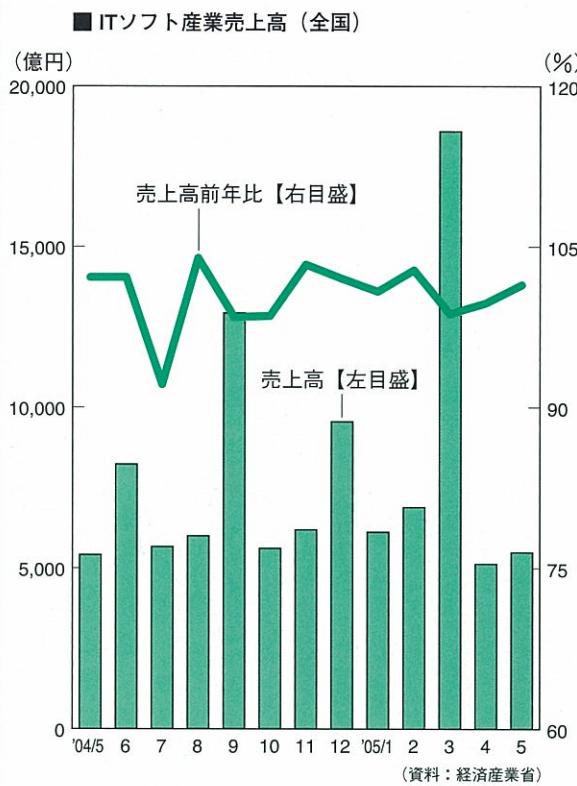
千葉県内のIT関連企業の4～6月の業況は、売り上げ、収益とも前年を上回っている先が多くなっているが、受注単価は低下傾向が続いている。やや上向いてきた受注を映じて、雇用も増加傾向となっている。

個社別に見ると、インターネットやWEB関連の開発を主力とする先是、受注が好調に推移する一方、パソコン等のハードウエア販売が主力の先是、価格下落が著しく収益が伸び悩むなど、業況の二

下げを目的とした海外でのプログラマ開発要求が強まっている。中国やインド等のSE単価は安いとはいっても、調整にかかる負担も大きく、思うようなコスト削減には至っていない。

4月からスタートした個人情報

保護法については、自社の対応の遅れが顧客離れにつながるケースもあり、プライバシーマークの取得や、オフィスのセキュリティ強化など、まずは自社の対応を強化し、その技術力を顧客にアピールする動きが見られる。(三田村)



窯業・土石

生コンの県内主要協同組合(北部・西部・中央)の4～6月の出荷量は大幅増加し、四期連続で前年同期を上回った(前年同期比…05年1～3月期+一二・四%→…05年4～6月期+三七・三%)。

千葉北部地区(柏・松戸・野田など)では、松戸、柏、我孫子のマンション建設が引き続き活発で、出荷量が大幅に増加した(同…+四三・七%→…+八四・一%)。千葉西部地区(浦安・市川・船橋など)でも、浦安、船橋

を中心としてマンション建設向け出荷が依然好調。市川駅南口再開発等、前年を上回る需要を見込んでいる(同…+十四・三%→…+二三・六%)。千葉中央地区(千葉・市原・四街道など)でも蘇我地区で景観整備等が行われ、出荷は好調に推移した(同…+十一・六%→…+十七・四%)。

4～6月期の木更津地域の山砂出荷量は、前年同期比やや減少した。羽田空港再拡張工事向けの山砂納入価格は、当初4月ごろには決まると思っていたが、ゼネコンとの交渉が始まらず、秋口までずれ込む見通し。(三田村)

石油・鉄鋼

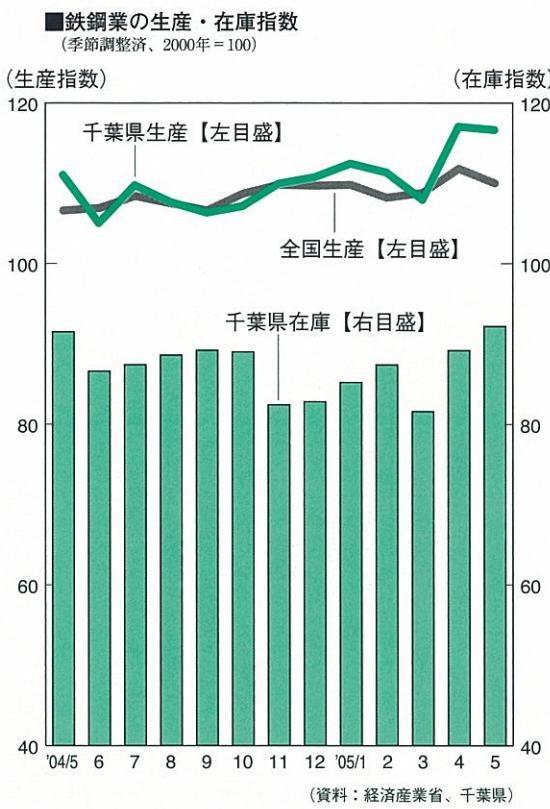
材価格は前月比▲三~五%値下がりした。
(酒井)

県内ガソリン販売店では原油価格高騰に伴い仕入価格の上昇が続いている。4~6月期のレギュラーガソリン平均小売価格は二二円(前年同期比+十二円、1~3月期比+七円)まで上昇した。

4~6月期の千葉県内高炉メーカーの粗鋼生産量は前年同期比微増と、引き続きフル操業の状態。アジア向け輸出、国内向けてともに上向きの動きが続いている。特に、自動車向け鋼板は高品質な日本製品の需給がタイトな状態が続いている。一方、H型鋼などの建材向け汎用品は、中国や韓国における粗鋼生産量の増大、国内鉄鋼卸が先高感から在庫を抱えたことなどから需給が緩和し、6月に入り鋼

鉄鋼

県内化学メーカーは、大手が海外需要に支えられ好調な業況を維持する中、中小企業は販売価格への転嫁が進まず、収益は厳しい状態が続いている。こうした中、製品の付加価値を高め販売価格に転嫁し、収益を確保しようとする動きが強まっている。
(酒井)



農業・漁業

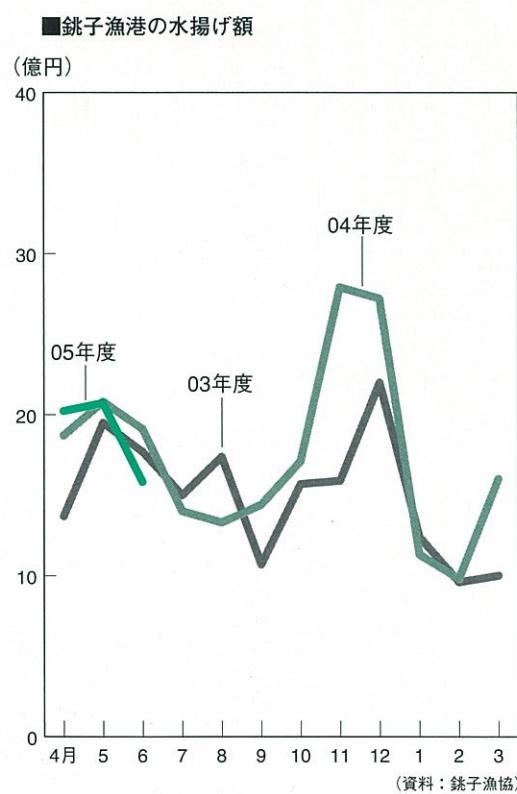
補助金を受給する農家も多かつた。
(酒井)

県内ガソリン販売店では原油価格高騰に伴い仕入価格の上昇が続いている。4~6月期のレギュラーガソリン平均小売価格は二二円(前年同期比+十二円、1~3月期比+七円)まで上昇した。

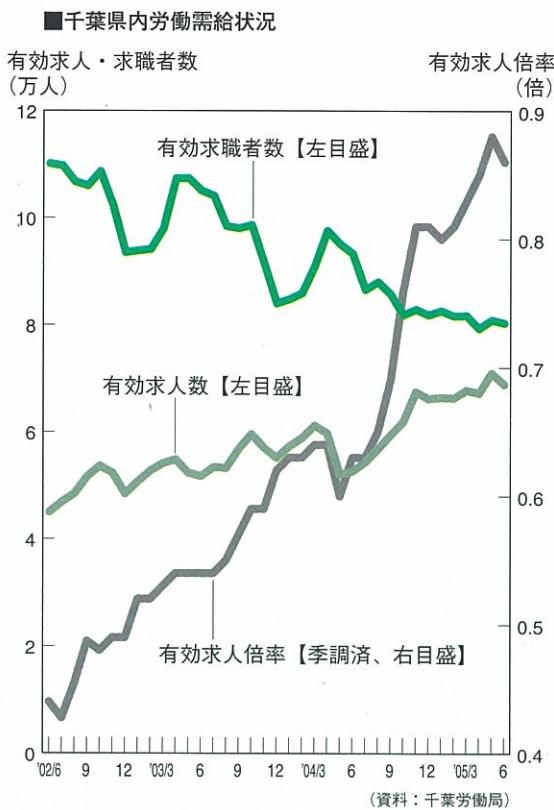
農業

4~6月期の千葉県産主要野菜一〇品目の東京中央卸売市場への出荷金額は、七〇・一億円(前年同期比▲七・一%)と大幅に減少した。4、5月の平均気温が前年より一~二℃低かったため、生育の遅れた产地からの出荷が6月に集中し、値崩れが起きたことが原因。なかでもキャベツは大暴落し、市場に出荷しても箱代、輸送代のほうが高くなる赤字出荷で、銚子市などの農家ではキャベツを出荷せず廃棄処分を行い、国から

勝浦漁港の4~6月期の水揚げは、数量(一万四六五九t・前年同期比▲二四・二%)、金額(三九・八億円・同▲三八・〇%)ともに減少した。主力のカツオは、5月中旬ころから活発化し、近年にない豊漁となつた。
(三田村)



雇用



千葉県の4～6月期の有効求人倍率（季調済）は、○・八六倍と十一期連続で改善し（05年1～3月期○・八一倍→4～6月期○・八六倍）、全国との格差も縮小した（全国：同○・九一倍→○・九五倍）。5月の有効求人倍率は、○・八八倍と92年以来十二年六か月ぶりの高水準となつた。雇用形態別には、一般○・七一倍（前期比+○・〇四倍）、パート一・三二倍（同+○・〇三倍）となつてゐる。

4～6月期の有効求人倍率（季調

済、月平均）は、全体で前期比+三・三%と四期連続で増加した。雇用形態別では、一般（同+二・八%）、パート（同+四・〇%）とも増加している。一方、有効求職者数は同▲二・二%と八期連続で減少した。

ハローワーク千葉によると、大

企業の製造業、介護・福祉関連などの求人数が前年比二倍程度に増加している。ジョブカフェちば（若者向け就業支援機関）では、開所（04年6月）から一年間の利用者数合計は約一万六千人（延べ利用回数は四万一千回）で、就職を含む進路決定者は約四千五百名。最近では就職決定率が徐々に高まっている。

（三田村）

企業経営動向調査(BSI)



05年4～6月期の企業の業況判断（1～3月期）比+二・三改善し（1～3月期）比+二・三改善している。製造業、非製造業ともどの求人数が前年比二倍程度に増加している。ジョブカフェちば（若者向け就業支援機関）では、開所（04年6月）から一年間の利用者数合計は約一万六千人（延べ利用回数は四万一千回）で、就職を含む進路決定者は約四千五百名。最近では就職決定率が徐々に高まっている。

（三田村）

05年4～6月期以来一年ぶりに「楽」超となつた。また、現行区分で統計開始（92年10～12月）以来、初めて製造業、非製造業ともに「楽」超となつた。

05年度設備投資計画（全産業ベ

ース、05年7月調査、全回答先三九九社）は、04年度実績比+一〇・〇%の増加となつた。製造業では同+七・五%、非製造業も同+十二・六%となつた。ただ、子細に見ると、製造業のうち中小企業は前年度比▲三・七%であり、非製造業も大手一社を除くと同▲十九・六%と中小企業の投資スタンスは慎重。

（酒井）

04年4～6月期以来一年ぶりに「楽」超となつた。また、現行区分で統計開始（92年10～12月）以来、初めて製造業、非製造業ともに「楽」超となつた。

05年度設備投資計画（全産業ベ